第3学年美術科学習指導案

3年1組 31名
指導者 澤田 良子

1 題材名 鑑賞「ピカソの表現～ゲルニカは語る～」

2 題材について

本題材では、ピカソの記念碑的な作品「ゲルニカ」を鑑賞し、その①表現工夫に気付くとともに、②表現の工夫を味わう場を通して、作者の心情や意図に迫ることをねらいとしている。「ゲルニカ」は歴史的な事件を描いたものであり、社会的に影響のある作品で、20世紀最も有名な絵画とも言われている。生徒たちの第一印象として、「変な絵」、「何が描かれているのか分からない」「落書きみたいでピカソらしい」等の感想をもつことが多い。そこで、より深く「ゲルニカ」を味わうために、第1次でピカソの多様な表現の作品を鑑賞する。そして、ピカソの表現の特徴を理解した上で「ゲルニカ」を鑑賞し、表現の特徴を年代を追って探し出すことで、ピカソが「ゲルニカ」の制作に至った心情や表現に込めた意図に迫らせた。

生徒たちは、これまでの鑑賞活動で、光と影の効果や抽象表現、シュルレアリスムの作品から写実や現実を超えた表現方法のよさを感じとってきた。また、丹下健三の広島平和記念公園デザインから、作者の心情や意図による工夫と作品がもつ社会への影響力について学習している。生徒は一人で作品を鑑賞することも、協力して多様に表現し合うことも比較的好きであるが、学年を経るにしたがって、人前で発表をすることに抵抗を感じているようである。

本時では、まず、作品を見て描かれたものを個人で探し出す活動を行い、その後互いの意見を共有することを通して、美術に対する見方を広げたり、考え方を深めたりすることができるようにする。色や形等の美術的なポイントを提示することにより、これまでの学習内容を基に、主体的に自分の考えを導き出せるようにしたい。

3 研修主題との関連

自ら考え、主体的に学ぶ生徒の育成
—自分の思いや考えを伝え合い、学び合う授業の創造を目指して—

(1) ねらいに迫る学習課題の提示について

- ・作品の原寸大の図版を用意することで、作品がもつ独特な迫力を体感させる。また、有名なピカソの作品の中でも特に有名で社会に影響を与えていることを知らせることで、表現の特徴に気付かせ、絵画に対する見方や感じ方を深めさせる。

(2) 一人一人の考えを引き出し、ねらいに向けて焦点化を図るための発問の工夫

- ・初めに個人で作品をよく見てワークシートに発見したことを表現する時間を設け、作品の印象や疑問、描かれているものを根拠に作品のねらいを考えさせる。その後、グループ活動で、考えを発表し合い、共有することにより、作品の見方を広げたり、考えを深めたりさせる。

(3) 振り返りの場の工夫について

- ・自分の見方の変容や新たに気付いたこと、考えが深まったことなどをワークシートにまとめる。

4 全体指導計画（全3時間）

- (1) ピカソの多様な表現方法を知る・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 「ゲルニカ」を味わう・・・・・・・・・・・・・・ 2時間（本時1／2）

5 本時の学習

(1) 目標

「ゲルニカ」に描かれているものを探し出したり、作品自体が語りかけることを感じ取ったりすることを通して、作品に描かれた作者の心情や意図を意識しながら鑑賞することができる。

(2) 展開

学習活動	学習形態	指導上の留意点	◆評価<方法>
1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を知る。	全体(10)	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習内容を教室内に提示しておく。 ピカソの表現の特徴を押さえる。 	
<p>学習課題 ピカソの最も有名な絵「ゲルニカ」は何を語っているか</p>			
<p>2 「ゲルニカ」を鑑賞する。</p> <p>個人・グループ・全体(15)</p> <p>○「ゲルニカ」には何が表現されているのか、個人で発見したことをワークシートに書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「描かれているもの」 何が、どんな風に描かれているか。 何を表しているか。 「感じること」 全体から受ける感じはどうか。 描かれたものから受ける感じはどんなものか。 <p>○友達の見解を聞きながら、「ゲルニカ」で表現されていることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「この絵には何が描かれているだろう。」と問いかけ、何が描かれているか、そこから何を感じたかというポイントで作品を鑑賞するように指示する。 何が描かれているのか書き出させる。 単語のみより、形や角度、色づかい等具体的に表現できるとさらに伝わりやすいことを助言する。 疑問に思うこと等もあれば併記させる。 どのように表現するか分からず困っている生徒には、机間指導で助言しながら、第一印象や特に気になるところ等の感じ方を手がかりに、絵に何が描かれているか探すように助言する。 「これはいったい何を表現したものか」、「なぜそう思うのか」等を切り口として意見をまとめさせる。 意見が出にくい場合は色や形の表現に目を向けさせる。 象徴的に絵に描かれたもの、生徒自身の感じたことを整理させる。 挙手で意思表示させたり、意見を繋げて発表させたりして指名を工夫する。 	<p>◆関心・意欲・態度 「ゲルニカ」の造形的なよさや表現の工夫に、興味・関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 <発表・態度・ワークシート></p>	
<p>3 「ゲルニカ」が語りかけてくることは何かについて考える。</p> <p>全体(20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ピカソはなぜ得意な色の感情表現や写実的な表現を使わなかったのか。 作品に描かれているものがよく分からないのに感じるものはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「この絵は観る人に何を語りかけているだろう。」と問いかけ、なぜそう思うのか、描かれたものや色等を根拠に発表できるように考えさせる。 有名な絵なので知っていることがあっても、発見したことを根拠にすることを促す。 「ゲルニカ」とは無差別爆撃が起こったスペインの都市名であることを伝え、描かれているのは爆撃の一場面であること理解させる。 爆撃の一場面であると分かって感じたことをまとめさせる。また、鑑賞と表現が相互に関連するよう、自分だったらどんな表現をするかについて考えさせる。 	<p>◆鑑賞の能力 「ゲルニカ」に描かれた表現を基に、作者の心情や意図、工夫等を考えながら、自分の考えをもって作品を味わっている。 <発表・態度・ワークシート></p>	
4 本時の振り返りをする。	個人(5)	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、新たに気付いたこと、さらに疑問に思ったこと等をワークシートにまとめさせる。 	

【第3学年 美術 鑑賞「ピカソの表現」】

次	主な学習活動 (全3時間)	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	発 想 や 構 想 の 能 力	創 造 的 な 技 能	鑑 賞 の 能 力	学習活動における評価規準 【 】は評価方法
1次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 作者の複数の作品から、多様な表現のよさを味わい、作者の心情の違いによる表現の違いや特徴を理解する。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 描かれているもの、作品を構成する色や形に注目しながら、作者の心情や意図の違いによる表現の多様さを探し出そうとしている。 【発表・態度・ワークシート】 描かれた対象、色や形等から、作者の意図の違いによる表現の特徴を見付け、理解することができる。 【発表・ワークシート】
2次	(1時間) <ul style="list-style-type: none"> 「ゲルニカ」に見られる表現から、作者の心情や意図を想像しながら、作品を味わう。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 「ゲルニカ」の造形的なよさ、表現の工夫に興味・関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。 【発表・態度・ワークシート】 「ゲルニカ」に描かれた表現をもとに、作者の工夫や心情を考えながら自分の考えをもって作品を味わおうとしている。 【発表・態度・ワークシート】
	(1時間) <ul style="list-style-type: none"> 「ゲルニカ」が制作された背景を理解し、今も語り継がれる意味を考えながら、作品を味わう。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 「ゲルニカ」の造形的なよさや表現の工夫から、作品が語りかけることを主体的に感じ取ろうとしている。 【発表・態度・ワークシート】 「ゲルニカ」の描かれた背景、作者の心情や意図による表現の工夫、美術作品が社会に与えた影響等を感じ取り、自分の考えをもって作品を味わおうとしている。 【発表・ワークシート】